

ビジネスパーソン必須の論理的思考力を1日で学ぶ

論理的思考入門 ~考える力を1日で身につける~

開催日：2018年6月21日(木) 10:00~16:45

会場：大阪銀行協会 別館3階(11号室)

講師：株式会社マネジメント・ラーニング ^{くぼた やすし}
代表取締役 **久保田 康司** 氏

略歴：

関西大学 社会学部社会学科卒業。関西学院大学 大学院商学研究科修了(MBA)。神戸大学 大学院経営学研究科修了(MBA)。現在、同志社大学 大学院総合政策科学研究科博士課程後期課程在籍。大学卒業後、鐘紡入社。ファッション事業部で営業を10年間経験。その後、ユー・エス・ジェイに開業メンバーとして参画。マーケティング企画室マネージャーや近畿地区統括マネージャーを歴任。その後、大手銀行系のコンサルティング会社に転職し、人材育成の業務に携わる。2012年マネジメント・ラーニングを設立し、代表取締役に就任。
<主な著書>「ビジネスリーダーのためのファシリテーション入門」(同文館出版)

特色

「論理的思考」は全てのビジネスパーソンにとって必須のスキルです。しかし、私たちはそれを学校ではあまり学ぶ機会はありませんでした。何とかしなければと思って書店に行きますと、「論理的思考」に関するビジネス書が大量に並んでいます。そこで、簡単そうな本を買ってみるのですが、実際にその知識が活かせないのが実情です。その理由は、学んだ知識を使って考える「トレーニング」を積んでいないからです。

本セミナーでは、単に知識をお伝えするのではなく、考えることを中心に「論理的思考」の仕方を、「実践しながら」学んでいただきます。「論理的思考」を初めて学ぶ方から、過去に学んだけれどビジネスに活かせていないという方まで、幅広い方におすすめです。

カリキュラム

録音・録画はご遠慮下さい。

1. 論理的に考えるとはどういうことか

- (1) 論理的であることの5つの視点
- (2) つながりがあるとは
- (3) 論理的に考えてみよう!

【演習1】思考を見える化する

2. 帰納法と演繹法

- (1) 三角ロジックで考える
- (2) 帰納法と活用法
- (3) 演繹法と活用法

【演習2】帰納法を活用したトレーニング

3. 論理的であるためには漏れや重複をなくす

- (1) M E C Eとはどのような状態のことか
- (2) なぜM E C Eが重要なのか
- (3) M E C Eは切り口が大切

【演習3】M E C Eを意識して考えてみよう

4. フレームワークの使い方

- (1) フレームワークとは何か
- (2) 様々なフレームワークを活用しよう
- (3) フレームワークのメリットとデメリット

【演習4】フレームワークを活用した思考法に挑戦

5. ピラミッドストラクチャーの使い方

- (1) 親和図を使った情報整理をマスターする
- (2) ピラミッドストラクチャーとは何か
- (3) So What と Why So

【演習5】ピラミッドストラクチャーを使った思考法に挑戦

6. 論理的思考に必須のロジックツリーを使いこなす

- (1) 物事を単調に考える人の落とし穴
- (2) ロジックツリーとは何か
- (3) ロジックツリーの様々な活用法

【演習6】ロジックツリーを活用した思考法に挑戦

7. まとめ

人から尊敬されるビジネスパーソンになるために

参加申込書 (*個人情報取り扱いに関して、私は貴社の「個人情報に関する利用目的」を確認、同意の上、申込みます。) 受講料：会員...23,760円 一般...31,320円
(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

6/21(木) 論理的思考入門 ~考える力を1日で身につける~

【FAX .06-6271-1286 りそな総合研究所 行】

貴社名			区分	MS・会員・一般	会員番号		
受講票送付先	〒		連絡担当者	部署・役職			
				ふりがな			
				氏名			
業種(具体的に記入してください)			E-Mail				
TEL	()	FAX	()	取引店	支店		
参加者 ()内に ふりがなを ご記入くだ さい。	氏名	()	部署	役職			
	氏名	()	部署	役職			
	氏名	()	部署	役職			
当社使用欄	替 / 振(会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料 円	作成日 /	発送日 /	同・別

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。[お問い合わせ先]
一般の方：受講票とともに請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。 06-6203-9472
*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。 研修担当 ㊦